

●第16回環境生理学プレコンgress・久野寧記念賞受賞講演会報告

福島大学共生システム理工学類 小山 純正

2022年3月15日(火)に仙台市において、第16回環境生理学プレコンgressが開催されました。環境生理学プレコンgressは、1974年に中山昭雄先生(大阪大学)の御発案によって発足した「環境生理グループディナー」を母体とし、2005年からコンgressとその後のグループディナーという形で、生理学会大会の前日に開催されてきました。しかしながら、長く続く新型コロナウイルスの影響により、一昨年度はコンgressのみの紙上開催となり、昨年度は、コンgress、グループディナーとも中止となりました。今年度は、生理学会大会に倣い、コンgressのみを、オンラインとオンラインのハイブリッド形式で開催しました。学会直前にも、生理学会大会の一部がオンライン開催となるなど、新型コロナウイルス禍による参加人数への影響が懸念されましたが、最終的に、53名の参加登録と14題の演題発表がなされました。

環境生理学プレコンgressは、環境生理学を専門とする研究者や学生が集まり、様々な環境要因と生体機能の関連についての研究発表と討論により、学生や若手の研究者にも口頭発表の機会を提供し、研究者の交流を深めることを目的としています。今回のプレコンgressでも、自律神経、内分泌、体温・代謝調節、生体リズム、睡眠、炎症反応、本能行動などについて、遺伝子・分子レベルからシステム・個体レベルまで様々なアプローチによる研究演題が寄せられ、様々な視点からの活発な討論がなされました。

演題発表終了後、久野寧(くの やす)記念賞受賞講演会が開催されました。久野寧記念賞は、環境生理学に関連する優れた論文を発表した40歳未満の日本生理学会員に与えられる、学会公認のグループディナー賞で、今年度(2021年度)で第26回目となります。この賞の名前にある久野寧先生は、世界に先駆けて人体の発汗に関する本格的な研究を行い、多くの業績を上げられました。その知見をまとめた「Human Perspiration」という大著は、現在でも体温調節研究のバイブルとなっています。

2021年度の久野寧記念賞は、田原優博士(早稲田大学)が受賞され、「アデニン負荷慢性腎臓病ホ



受賞記念盾を持つ田原優博士

デルマウスにおける概日時計障害」の演題で講演が行われました。慢性腎疾患と体内時計が密接に関係することを様々な手法を使って明らかにした研究で、リズム生物学の分野にも予防医学の分野にも大きな寄与が期待されるものでした。講演後には、研究の際の苦労話裏話も交え、活発な質疑応答が行われました。本来ならば、講演会に先立って賞の授与式が行われるのですが、時節柄今回は、前もってお送りしていた受賞記念盾をZoomでお披露目させていただきました。

受賞講演会に引き続き、環境生理学に関連する研究室での昇進や異動などの近況報告がなされ、次回の環境生理学プレコンgress・グループディナーの世話人をお引き受けくださった、八木田和弘先生(京都府立医科大学)と岩崎有作先生(京都府立大学)からのご挨拶がありました。来年度は、プレコンgressとその後のグループディナーという、通常の形での会が実現することを願って、閉会となりました。